

(様式3)

県立高校指定校事業（平成31年度指定）単年度報告書（令和元年度）

学校名	相模原総合高等学校（㊤・定・通）	校長名	野田 麻由美
指定名	プログラミング教育研究推進校		
研究主題	プログラミング教育によって生徒の確かな論理的思考力の定着、協働的問題解決能力の育成を図る。プログラミング教育の実践を通じて指導内容や方法等を研究開発し、その成果の普及を図る。		
本年度の研究内容	<p>(1) 本年度の目標</p> <p>プログラミング教育の5つの視点のうち特に「やるべきことを順序立てて考える」の目標達成に向けて、段階を踏んだわかりやすい授業の研究に取り組む。</p> <p>(2) 実施内容（具体的に）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全校生徒対象のプログラミング教育ガイダンスを実施し、情報社会におけるプログラミングの実情やプログラミング教育の視点について考えさせた。</li><li>・情報科の科目「情報の科学」において、単元「問題解決とコンピュータの活用」にとどまらず、プログラミング教育の5つの視点を生徒に意識し、身に付けさせる授業を実施した。</li><li>・情報科の学校設定科目において、プログラミング教育の5つの視点を生徒に意識し、身に付けさせる授業を実施した。</li><li>・商業科の科目「プログラミング」「発展プログラミング」において、Java 言語を使った問題解決学習を実施した。</li><li>・各教科・科目において、「やるべきことを順序立てて考える」ための授業展開や授業の過程を意識した授業実践を行った。</li><li>・各年次の昇降口にプログラミング教育の視点「やるべきことを順序立てて考える」を掲示するとともに、授業担当がホワイトボードや黒板に1時間の授業のねらいやゴールを明示して授業を実施した。</li></ul> <p>(3) 検証方法と検証結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・プログラミング教育に関する生徒アンケートを実施し、データの収集・分析を行った。前期・後期の2回行った授業評価アンケート結果によると、本校独自観点として設定した「学習のねらいに対して、順序立てて理解を深め、学習することができた（一つ一つ理解しながら、学習を深めることができた）」の回答は、前期と比較して11教科で後期に0.1ポイント以上上昇、すべての教科平均では0.1ポイント上昇した。他の観点においてもおおむね上昇傾向にある。</li></ul>		
まとめ	<p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報科の科目「情報の科学」において、単元「問題解決とコンピュータの活用」のみならず、他の単元でもプログラミングを意識した授業展開を工夫し、他教科の授業にもつながるプログラミング教育を行うことができた。</li><li>・6月には7教科においてプログラミング教育の視点を踏まえた研究授業を実施し、他校の教員とともにプログラミング教育に関する研究協議を実施することができた。</li><li>・6月14日には、本校にて公開研究授業とあわせてテーマ別研究協議会を実施し、他のプログラミング教育研究推進校と研究協議・情報交換を行うことができた。</li><li>・外部機関との連携については、I期指定に続いて、神奈川工科大学と連携し、学校設定科目「ロボットプログラムの基礎」を行い、大学との連携授業を実施することができた。また、当該講座の担当講師である金井徳兼教授をお招きして、本校にて職員対象のプログラミング教育研修会を行い、全職員がレゴマインドストームを触りながらプログラミングの基礎・基本的な考え方を身につけることができた。本校コンピューター・ネットワーク研究部員も研修会の手伝いをする中で職員と共にプログラミングについてともに学ぶことができた。</li><li>・プログラミング教育の視点「やるべきことを順序立てて考える」を校内に掲示することで、生徒・職員に順序立てて考えることを意識し、重要性を喚起することができた。</li></ul>		

	<p>(2)課題（次年度に向けての方向性を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報科の科目「情報の科学」において、プログラミングやプログラミング教育の視点を意識した学習指導案を作成し、授業展開・内容を工夫する。</li> <li>・情報科・商業科の学校設定科目では、プログラミング教育の視点を意識した授業展開を工夫するとともに、コーディングを行うプログラミング教育における生徒の学習意欲の向上のために、これまで以上に授業展開や授業内容を工夫する。</li> <li>・今年度に引き続き、情報科のみならず様々な教科・科目において、「やるべきことを順序立てて考える」の目標をより一層実現させるために、手順・段階・過程を意識したわかりやすい授業づくりを行う。</li> </ul>
<p>その他 特記事項</p>	<p>県立高校教育力向上推進事業 Ver. II 「シチズンシップ教育」指定（平成 25～27 年度）      県立高校改革 I 期指定事業「プログラミング教育研究推進校」指定（平成 28～30 年度）</p>